

説明文書

膵がんの早期診断を目指した取り組み・臨床研究についてのお知らせ

～大阪早期膵がんプロジェクト～

【目的】

膵がんは早期診断が難しく、難治性の悪性腫瘍として知られています。当院では、医師会や近隣の総合病院と合同で、膵がんの早期診断を目指した地域連携の取り組みと臨床研究を行っています。

【参加施設・組織】

北野病院、淀川キリスト教病院、大阪市立総合医療センター、大阪府済生会中津病院、大阪赤十字病院の5病院と、北区、大淀、東淀川区、都島区、旭区、天王寺区の各医師会、医療機関。

【対象】

2014年4月1日から2024年3月31日に膵臓に異常所見を認め、精査を受けられた方。

2011年1月1日から2024年3月31日に当院で膵悪性腫瘍と診断された方。

【方法】

膵腫瘍や膵嚢胞性病変、膵管拡張など、膵疾患を有する方を対象に、精査と定期的なフォローアップを行います。かかりつけ医と連携してフォローアップする場合、「膵疾患地域連携クリニカルパス」を用いる場合があります。以下の診療情報を記録、収集させていただきます。

- ・基本的な情報：年齢、性別、家族歴等。
- ・検査の情報：CTやMRI、内視鏡検査等の結果。
- ・経過：膵がん発症の有無や経過。
- ・早期膵がんと診断された方の臨床的特徴
- ・膵悪性腫瘍と診断された方の診断時の臨床 data、治療内容、予後など。

【予想される利益・不利益、プライバシーの保護】

通常診療の範囲内での取り組みですので、特別な利益や不利益はありません。

データ収集の際には、患者さん個人を特定しうる情報（個人情報）は院内で厳重に管理し、個人が同定されないよう匿名化した上でデータの収集、解析が行われます。この取り組み・研究の成果は、学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。

また、この取り組み・研究は各病院の倫理委員会の承認を得ており、患者さんの権利が守られている事や医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

【取り組み・臨床研究への質問や辞退について】

この取り組み・臨床研究に関してご質問がある場合や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが主治医または以下の連絡先へご連絡ください。

分担研究者 淀川キリスト教病院 消化器内科

部長 渡辺明彦

医長 藤田 光一

連絡先 電話：06-6322-2250(代表)